

講演 『職種や施設の壁を超えた多職種連携』 ～奇跡の在宅復帰率を実現した事例などの紹介～

日時 2018
2 / 1 (木)

会場

まちだ丘の上病院
(東京都町田市小野路町11-1)
ロビーフロア

対象

- ・町田市および近郊の医療機関の皆様
- ・町田市および近郊の福祉・介護施設の皆様
- ・町田市および近郊の地域医療に関わる皆様

15:00～16:30 (開場 14:30)

講演内容

大切だと言われながらもなかなか難しい多職種連携。施設内の他部署との連携すら難しいのに、ましてや施設の壁を超えた多職種や、家庭の介護従事者との連携はもっと難しいものです。

本講演では、諏訪中央病院時代に、日本初のデイケアを企画するなど、常に“患者さんやそのご家族目線”で、職種や施設の枠組みを超えて新しい取り組みを行い、日本で初めて「チーム医療論」と「チーム医療演習」を広島県立大学で開講した鷹野和美教授による、理論的でありながら実践的な多職種連携についての講義です。医療・介護・福祉の専門家の皆様が日々悩んでいる課題に、チーム医療論のパイオニアがお答えします。

講師

鷹野 和美 (たかの かすみ)

まちだ丘の上病院 常務理事 / 東大阪短期大学福祉学部長・教授
信州大学大学院医学研究科博士課程終了
広島県立保健福祉大学助教授、東京大学大学院医学系研究科客員研究員、長野大学社会福祉学部教授等を経て、2008年4月京都創成大学学長就任
09年財団法人国際生涯学習研究財団理事 11年4月れんげメディカルグループ理事長を歴任、現在東大阪大学・短期大学部教授、一般財団法人ひふみ会・常務理事、一般社団法人地域包括ケア研究所・副所長



まちだ丘の上病院紹介

一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院

1981年、町田の“丘の上”に、重症身体障害児の受け入れ施設ならびに機能改善専門病院として開院
2017年12月、“地域とともに歩む医療機関”として、「あたたかな医療」「確かな医療」そして「共に成長する医療」を掲げ、これまでの医療で培ってきたあたたかなケアと金院長体制によって構築する医療技術をもって、地域の患者様にプライマリケアから病床をもった療養環境を提供し、地域を支えています。
<診療科>内科、整形外科、リハビリテーション科 <許可病床>医療療養78床(療養病棟入院基本料Ⅰ)

※当院への入院等のご相談は、地域連携担当までお問い合わせください。

地域連携担当 石井・久保田・浅沼 042-735-3731 cooperation@machida-hospital.com

申込

参加費無料。ご所属・お役職・お名前を記載の上、講演会参加の旨をお知らせください。

一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院 深田・工藤・中山 宛

042-735-3731 info@machida-hospital.com

主催：一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院

共催：一般社団法人地域包括ケア研究所